

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	リスニング編 Part1 写真描写問題	リスニング力の向上
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	リスニング編 Part2 応答問題	リスニング力の向上
学 年	1年生	担当教員	鈴木晴奈	3	リスニング編 Part3 会話問題	リスニング力の向上
科 目 名	English Strategy TOEIC対策 I	時間数	136単位時間	4	リスニング編 Part4 説明文問題	リスニング力の向上
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
使用テキスト名	公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、リーディング編			6	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
補助教材	公式TOEIC Listening & Reading 6・7			7	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目概要と科目到達目標 科目到達目標: ListeningとReadingの模試問題を集中的に学習し、トレーニングによって解法を身に付け 9月のTOEIC公開テストで600点、11月のTOEIC公開テストで700点をを目指す				8	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				9	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				10	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				11	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				12	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				13	評価	まとめテスト
				14	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				15	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				16	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				17	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				18	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				19	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				20	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
				授業の進め方・学習方法・課題 問題集を使用した実践形式のリーディング問題に慣れることにより得点力の向上を狙う。 繰り返し音声を聞くことにより、音声を記憶する。 ミニテストによる学習進捗状況の確認。 対面授業と遠隔授業の併用実施		
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②TOEIC公式テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
実務経験教員の経歴 貿易会社での翻訳業務経験7年 大手英会話教室講師経験あり				23	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				24	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				25	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				26	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				27	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				28	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
				29	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				30	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				31	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				32	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				33	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	準2級の重要名詞①	5月受験対策
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	準2級の重要名詞②	5月受験対策
学 年	1年	担当教員	皆川・寺田	3	準2級の重要動詞①	5月受験対策
科 目 名	English Strategy 英検対策 I	時間数	136単位時間	4	準2級の重要動詞②	5月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	準2級の重要形容詞・副詞	5月受験対策
使用テキスト名	2024年度版 英検準2級過去問題集			6	準2級の重要前置詞・接続詞	5月受験対策
補助教材	スタディサプリ TEPPAN単語			7	準2級の重要熟語	5月受験対策
				8	準2級の重要な会話表現	5月受験対策
科目概要と科目到達目標				9	自動詞と他動詞	5月受験対策
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し準2級取得を目指す				10	注意すべき時制	10月受験対策
				11	注意すべき受け身	10月受験対策
				12	助動詞①	10月受験対策
				13	助動詞②	10月受験対策
				14	評価テスト	評価
授業の進め方・学習方法・課題				15	仮定法	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策を定期的に行う 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	動名詞	10月受験対策
				17	分詞構文	10月受験対策
				18	関係詞	10月受験対策
				19	比較	10月受験対策
				20	長文読解	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	英作文問題①	10月受験対策
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	英作文問題②	1月受験対策
				23	英作文問題③	1月受験対策
				24	リスニング 会話表現①	1月受験対策
				25	リスニング 会話表現②	1月受験対策
				26	リスニング 説明文	1月受験対策
				27	リスニング問題のテクニック①	1月受験対策
				28	リスニング問題のテクニック②	1月受験対策
				29	総合テスト①	1月受験対策
				30	総合テスト②	1月受験対策
				31	総合テスト③	1月受験対策
				実務経験教員の経歴		
				33	2次面接対策②	1月受験対策
				34	評価テスト	評価

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Unit 1: People	Meet people; Ask personal info
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2		Describe people & occupations; compare
学 年	1年	担当教員	Mark, Maya, Neil	3	Unit 2: A day in the Life	Talk about typical day; free time
科 目 名	Speaking I	時間数	170単位時間	4		Describe special days, hobbies, interests
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン	5		Plan a party (Group work)
使用テキスト名	Talk A Beginner			6	Unit 3: Going Places	Possessions, Travel info, Ask & Give advice
補助教材				7		Describe a place & Plan a vacation
				8		Give presentaion about a vacation
科目概要と科目到達目標				9	Review: Vocab & Speaking	Q & A about your Vacation plan!
科目到達目標: Outputにフォーカスを置き、発音、聞き取りを総合的に習い、スピーキング力向上を図る。 自己紹介から始まり最終的には自分の意見を伝えることを到達目標とする。				10	Unit 4: Food	Recipe, menus, ordereing
				11		Talk about diets, Plan a farm or garden
				12		Role play: in a resturant, ordering online
				13	Unit 5: Sports	Activities, favotire sports, compare
				14		Frequency of activity, survey
授業の進め方・学習方法・課題				15	Review: Vocab & Speaking	More role play for activities (Sports or Food)
さまざまなTOPICから自分の意見を考えたうえでグループで発表しながら基本的な形式をマスターする 対面授業と遠隔授業の併用実施				16		Review vocab & Grammar
				17	Test (First five unit test)	Test
				18	Unit 6: Destinations	Past vacations, weekend; asking about places
				19		Fdescribe qan Ancient place; find and share info online
				20	Unti 7: Communication	Personal communication, exchanging info
評価方法・成績評価基準				21		Describe sights, sounds & other sensations
①口頭試験50% ②授業への積極的参加20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%				22	Unti 8: Making Plans	Short term or long term, Predictions or opinions about future
【成績評価基準】				23		Solve problems; discuss personality
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	Review: Vocab & Speaking	Group presentation (Introduction)
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25		Give presentaion about the future; Q&A
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	Unti 9: Types of Clothing	Compare and buy clothes, Role play shopping
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27		Describe and discuss fashion
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	Unti 10: Lifestyles	Discuss healthy & unhealthy habits
				29		Lifetyles & Happiness
				30	Unti 11: Achievements	Interview for job, Talk about self achievements
				31		Plan for success, write resume (English)
実務経験教員の経歴				32	Review: Vocab & Speaking	Prepare for final test
				33		Role play interview
				34		Vocab & Grammar test

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	選択	1	●はじめに…… 何故メイクをするのか？ 授業進度について 評価方法	自分の顔にあったメイクを学ぶ
学年	1年	担当教員	加藤 広美	2	●自己紹介 ・メイクについて絡ませながらの自己紹介	自分の顔にあったメイクを学ぶ
科目名	ビジネスメイク	時間数	17時間	3	●自分流のメイク	マナーとエチケットの違いを学ぶ
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	●普段のメイクと仕事メイクの違いについて	マナーとエチケットの違いを学ぶ
使用テキスト名	なし			5	●接客業メイクについて 業種別メイク	職業別のメイクの特徴
補助教材				6	●顔立ちからのメイク方法	職業別のメイクの特徴
				7	●顔立ちからのメイク方法 ・下地 保湿	基礎メイクの方法を学ぶ
				8	●顔立ちからのメイク方法 ・ベース	基礎メイクの方法を学ぶ
科目概要と科目到達目標				9	●顔立ちからのメイク方法 ・眉	基礎メイクの方法を学ぶ
科目到達目標: 後期から始まる就職活動に向けて、印象をよくするためのメイク方法を学ぶ。自分の顔の特徴と捉え、特徴を活かした方法を見出す。 対面授業と遠隔授業の併用実施				10	●業界別メイクの特徴	業界別メイクとは
				11	●社会人としてふさわしい髪型とメイク	社会人にふさわしいメイクとは
				12	●トータルメイクアップ	自分に合ったメイクとは
				13	●トータルメイクアップ	自分に合ったメイクとは
				14	●メイクアップとビジネスマナーについて	仕事におけるメイクの大切さは何かを学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				15	●立ち居振る舞い	服装に適したメイクとは何かを学ぶ
基礎となるベースメイクから業界に応じたビジネスメイクのしかたをそれぞれの学生にあった手入れの仕方を教える				16	●立ち居振る舞い	服装に適したメイクとは何かを学ぶ
				17	評価	
評価方法・成績評価基準						
出席率50%、テスト30%、積極性20%						
【成績評価基準】						
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた						
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している						
C=良(79-79点) 到達目標を達成している						
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している						
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						
某化粧品会社に勤務経験あり						
企業へのマナー研修指導多数						

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	第1章 文の種類	基本的な文の形
学年	1年生	担当教員	皆川・寺田・坂上	2	第2章 動詞と文型①	be動詞の使い方
科目名	Grammar&Writing I	時間数	68単位時間	3	第2章 動詞と文型②	一般動詞の使い方
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	第2章 動詞と文型の復習	be動詞・一般動詞の使い方の復習と確認
使用テキスト名	わかるを作る中学英語問題集			5	第3章 命令文	命令文の基本用法を学習する
補助教材				6	第4章 疑問詞・疑問文①	5W1Hの疑問詞を用いた構文を学習する
科目概要と科目到達目標				7	第4章 疑問詞・疑問文②	5W1Hの疑問詞を用いた構文を学習する
				8	第5章 進行形①	現在進行形の基本・応用を学習する
科目到達目標: 基礎的な英文法を理解し、英語表現力向上を計る				9	第5章 進行形②	過去進行形・未来進行形を学習する
				10	第6章 過去の文①	過去形の基本型を学ぶ
				11	第6章 過去の文②	過去形の応用型を学ぶ
				12	第7章 未来の文①	be動詞を用いた未来形を学習する
				13	第7章 未来の文②	助動詞willを用いた未来形を学習する
				14	第8章 いろいろな分	知覚動詞・使役動詞を学習する
授業の進め方・学習方法・課題				15	第9章 There is構文	There is構文の基本型・否定形・疑問形を学習する
英文のイメージトレーニングを身に付けるために文章の基本的な形を覚える 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	復習	前期までの復習
				17	評価	中間テスト
				18	第10章 不定詞①	不定詞の副詞的用法を学習する
				19	第10章 不定詞②	不定詞の名詞的用法を学習する
				20	第10章 不定詞③	不定詞の形容詞的用法を学習する
評価方法・成績評価基準				21	第11章 比較	比較・最上級を学習する
①定期テスト50%、②課題提出率30%、授業に対する意欲20% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	第12章 受動態①	受動態の基本型を学ぶ
				23	第12章 受動態②	受動態の応用型を学ぶ
				24	第13章 現在完了形①	現在完了形の基本・応用を学習する
				25	第13章 現在完了形②	現在完了形を用いた疑問形・否定形を学ぶ
				26	第14章 不定詞といろいろな文型	不定詞を用いた様々な形を学習する
				27	第15章 名詞を修飾する句・節	冠詞・特定冠詞について学習する
				28	第16章 関係代名詞①	主格の関係代名詞について学習する
				29	第16章 関係代名詞②	目的格の関係代名詞について学習する
				30	第17章 関節疑問・付加疑問・否定疑問	様々な疑問形を学習する
				31	第18章 感嘆文・話法・仮定法	直接・関節話法、ifを用いた仮定法について学習する
				実務経験教員の経歴		
				33	総復習	
				34	評価	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	What is TED? Introduction	Skills & techiques to be taught
学年	1年	担当教員	今井シャリーン	2	Demonstration Presentation	Model presentaion & genre
科目名	Business & Public Speaking I	時間数	68単位時間	3	Introduce Online system; Using Internet Resources	Setting up online sources & links
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	The Physical Message	Foundations of Physical Communication
使用テキスト名	Speaking of Speech Premium Edition			5		Prepare and Perform Home town Presentation
補助教材				6	Gestures	Supporting your words with physical communication
				7		Prepare and Perform Preference of ideal campus
				8	Voice Inflection	How to emnphasize key words to an audience
科目概要と科目到達目標				9		Prepare and Perform Cooking Demo
科目到達目標: Challenge of the course is to speak in English and give a live presentation. In addition, to listen and quickly understand is essential. By using English as the primary language, students will have a greater word understanding and sensitivity.				10	Introduce The Visual Message	Tools used to create the Visual Message
				11	Introduction and Practice	Using PowerPoint; Keynote for Presentation
				12	Effective Visuals	Analyze two kinds of presedntations
				13		
				14	Explaining Visuals	Showing Comparisons; Most effective technics
				15		
授業の進め方・学習方法・課題				16	My inspiration; Reporting what someone said	Using your voice effectively
プレゼンテーションの基本的な技術を学んだ上で、与えられたテーマに沿ってスライドと原稿を作成し、実際にプレゼンテーションを英語で実施する。				17		
				18	Visual Presentation	Prepare & Present a comparison of two countries
				19		
対面授業と遠隔授業の併用実施				20	TOEIC公開テスト対策	Creating effective slides; weighing both sides; use of interesting vocabulary and physical dstyles
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	The introduction	Designing Intersting Intros
				23		
				24	The Body: Written Content	Working with tables or Graphs; Presenting Statistics in an intersting manner
				25		
				26	The Conclusion: Finish off with power!	Making Memorable Conclusions
				27		
				28	Prepare Presdentaion	Create individual or grpoup Presentation: Topic to be decided by group or individual
				29		
				30	Practice Review	Demonstrate a Outline performance of Presentation; Peer review
				31		
実務経験教員の経歴				32	Final Presentations	Final Performace; Peer Review
Native of California, USA; 38 years teaching experience in USA, Japan & Europe; M.A. TEFL				33	Final Presentation	
				34	Final Presentation	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	日米の歴史・文化について	歴史・文化の違いから民族性や思想を理解し、語学習得に繋げる
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	College Life	日本とアメリカの学校制度、学校生活を学ぶ
学 年	1年生	担当教員	坂上・Charlie	3		
科 目 名	Japan&American Studies	時間数	34単位時間	4	Sports	日本とアメリカの代表的なスポーツ、国技を知り
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5		その歴史的背景を読み解く
使用テキスト名	Young Pop Cultures JAPANESE AND AMERICANS			6	Dating	他者間との付き合い方、距離感の違いを理解し
補助教材	教員自作教材、PPTを使用			7		日本での人間関係について考える
				8	Review and Discuss	これまでやってきた内容で気づいた事、知った事を
科目概要と科目到達目標				9		共有しさらなる理解を深める
科目到達目標:日米の歴史から文化を紐解き、両方の民族性や思想の違いを理解し、語学習得の効率性を向上させる。				10		日本とアメリカの飲酒にたいする根本的考え方、歴史的
				11	Cars	背景を学ぶ。
				12		日本とアメリカの車と車社会について学ぶ。
				13		
				14	Family Relations	日本とアメリカの家族に対する考え方の違いについて
授業の進め方・学習方法・課題				15		学習する。
教科書や教員の実体験や昨今のニュースを基に過去と現在、未来を学生達でレビューし話し合う。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	Review and Discuss	これまでやってきた内容で気づいた事、知った事を
				17		共有しさらなる理解を深める
				18	Guns	日本とアメリカの銃社会についての文化、歴史を学び
				19		民族性を知る
				20	Gift-Giving	日本とアメリカの贈り物にまつわる違いを学ぶ
評価方法・成績評価基準				21		
①定期テスト50%、②課題提出率30%、授業に対する意欲20%				22	Fashion	日本とアメリカのファッションの違いについて学ぶ
				23		
【成績評価基準】				24	Review and Discuss	これまでやってきた内容で気づいた事、知った事を
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				25		共有しさらなる理解を深める
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				26	Public Manners	日本とアメリカの公的マナーについて学ぶ
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				27		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				28	The Elderly	日本とアメリカの高齢者に対する考え方の違い、社会的
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29		政策の違いを学ぶ。
				30	Careers	日米間の仕事に関する考え方の違いを学ぶ
				31		
実務経験教員の経歴				32	Review and Discuss	これまでやってきた内容で気づいた事、知った事を
				33		共有しさらなる理解を深める
				34	Evaluation Test	最終確認として論述問題を解く

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	SUCCESS P6～P11 就職活動の心構え	社会人と学生の違いを知る
学年	1年生	担当教員	坂上啓貴	2	SUCCESS P12～P16就職活動の心構え	社会人と学生の違いを知る
科目名	就職実務 I	時間数	34単位時間	3	SUCCESS P17～P20 ①自分自身を知る②自己分析で考えるポイント	
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	SUCCESS P21 ①自己PRの作り方	自己分析をする
使用テキスト名	勝つための就職ガイド SUCCESS			5	SUCCESS P24 ①現在までの自分史を作成しよう	自己分析をする
補助教材	パワーポイントスライド			6	SUCCESS P25 ①自己PR分の基本構成作成	自己分析をする
科目概要と科目到達目標				7	SUCCESS P27～29 ①職業を知る（業種と職種を理解）	職業観を身に付ける
				8	SUCCESS P30～P31 志望動機 ①志望動機とは何か②基本パターン	職業観を身に付ける
科目到達目標:就職に向けた自己分析、履歴書、エントリーシートの記入方法、面接練習を行うことにより、学生が希望する業種・職種に自ら挑戦していけるマインドセットを養う				9	SUCCESS P32～P34 志望動機 ①志望動機作成ワークシート(専門職、営業)	志望動機を書くためのポイント
				10	SUCCESS P35～P37情報収集のポイント ①職種企業を絞り込むには	職種について考える
				11	SUCCESS P38～P39企業研究の方法	企業研究の方法を学ぶ
				12	SUCCESS P40～P41就活における電子メール使用の注意点	個人情報について学ぶ
				13	SUCCESS P42 facebook twitterの活用について	SNSについて学ぶ
				14	SUCCESS P43～P44 資料請求の仕方(はがきの場合、メールで請求の場合)	資料請求について
授業の進め方・学習方法・課題				15	SUCCESS P45 お礼状の書き方①メールの場合②手紙の場合	書類の書き方を学ぶ
自己PRを自己分析シートを使って正しい言葉を使いながら文章に仕上げる 業界に適した一般常識問題をマスターする 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	SUCCESS P46～48 求人票の見方①求人者②採用条件③勤務条件	求人票の見方とナローワークに関して理解する
				17	SUCCESS P49～50 インターシップのしくみ ①インターシップ体験の活かし方	インターシップの利点を理解する
				18	SUCCESS P51～P52 作成書類 ①エントリーシートとは②エントリーシートの書き方	エントリーシートとは何かを学ぶ
				19	SUCCESS P53 作成書類 ①エントリーシートの入手時期と内容	会社別エントリーシートとは
				20	TOEIC公開テスト対策	履歴書作成に關しての注意点を学ぶ
評価方法・成績評価基準				21	SUCCESS P56～P57 第一回作成書類 ①履歴書作成個人作業	履歴書を書いてみる
一般常識テスト40%、書類作成の理解度30%、学習意欲20%、面接対策10%				22	SUCCESS P56～P57 第二回作成書類 ①履歴書作成個人作業	履歴書を書いてみる
				23	SUCCESS P58 応募書類の添え状について	添え状の書き方について学ぶ
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				24	最新最強の一般常識 時事問題 政治 国際情勢	筆記試験対策
				25	最新最強の一般常識 時事問題 経済①経済の基礎知識の確認	筆記試験対策
				26	最新最強の一般常識 時事問題 経済①経済情勢を把握する	筆記試験対策
				27	最新最強の一般常識 時事問題 産業①産業界の分析②労働に關した法律	筆記試験対策
				28	最新最強の一般常識 時事問題 金融①金融用語の把握②金融商品	筆記試験対策
				29	最新最強の一般常識 時事問題 科学技術①コンピューター用語	筆記試験対策
				30	最新最強のSPI SPIの基礎知識 SPI適正検査とは	筆記試験対策
				31	最新最強のSPI 非言語能力問題	筆記試験対策
				32	最新最強のSPI 非言語能力問題	筆記試験対策
				実務経験教員の経歴		
キャリアアドバイザー検定取得者、実務経験6年 航空、一般企業勤務経歴有				34	最新最強のSPI 言語能力問題	筆記試験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Chapter1 Wordの基本ー(Wordの起動・画面構成・操作・ヘルプの使い方)	基本操作の理解
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	Chapter1練習問題・テスト	文字入力について
学 年	1年生	担当教員	今井真由美	3	Chapter2 文字入力と基本操作ー(新規文書の作成・日本語入力システム)	文字入力について
科 目 名	PC実習	時間数	68単位時間	4	文字入力と基本操作ー(文字の入力と変換・単語の登録)	文字入力について
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	文字入力と基本操作ー(文書の保存・文字の選択)	文字入力について
使用テキスト名	Microsoft Word/Excel 2019 クイックマスター			6	文字入力と基本操作ー(文字列の編集・コピー・移動)	文字入力について
補助教材	Word 文書処理技能認定試験 問題集			7	Chapter2練習問題・テスト	文字入力について
科目概要と科目到達目標				8	Chapter3 文書の編集ー(学習する内容・ページ書式設定)	文章の編集について
科目到達目標: Word文書処理能力技能認定試験3級取得、Excel表計算処理技能認定試験3級取得				9	文書の編集ー(文字の書式設定・文字幅と間隔の設定)	文章の編集について
				10	文書の編集ー(文字の配置・字下げと行間の設定)	文章の編集について
				11	文書の編集ー(禁則処理・罫線と網掛け)	文章の編集について
				12	Chapter3練習問題・テスト	文章の編集について
				13	Chapter4 文書の印刷ー(学習する内容・改ページの挿入)	印刷について
				14	文書の印刷ー(ヘッダー・フッターの設定)	印刷について
授業の進め方・学習方法・課題				15	文書の印刷ー(印刷イメージの確認方法・印刷の実行)	印刷について
Word処理技能検定3級・Excel表計算処理技能認定試験3級 合格				16	Chapter4練習問題・テスト	印刷について
3級に必要な時間内でのタイピング、罫線の引き方、文字設定の仕方、印刷のかけ方				17	Chapter5 文書の作成ー(学習する内容・入力オートフォーマット/あいさつ文)	文章フォーマットについて
など基本的な作業を理解し、ビジネスレターやポスターなどを効率的に製作する方法を学ぶ				18	文書の作成ー(学習する内容・入力オートフォーマット/段落番号・設定)	文章フォーマットについて
対面授業と遠隔授業の併用実施				19	文書の作成ー(罫書きの設定・タブ)	文章フォーマットについて
				20	TOEIC公開テスト対策	文章フォーマットについて
評価方法・成績評価基準				21	文書の作成ー(ビジネス文書の作成例)①	文章フォーマットについて
				22	文書の作成ー(ビジネス文書の作成例)②	文章フォーマットについて
①出席 ②提出課題 ③授業態度 ④検定取得				23	Chapter5練習問題・テスト	文章フォーマットについて
【成績評価基準】				24	Chapter6 表を使った文書の作成ー(学習する内容・表の作成)	表の作成について
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				25	表を使った文書の作成ー(表の選択方法・表の編集)	表の作成について
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				26	表を使った文書の作成ー(表の装飾・文字列から表を作成する)	表の作成について
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				27	Chapter6練習問題・テスト	表の作成について
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				28	Chapter7 図形や画像を使った文書の作成ー(学習する内容・図形の作成)①	図形や画像作成について
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29	図形や画像を使った文書の作成ー(図形の作成)②	図形や画像作成について
				30	図形や画像を使った文書の作成ー(図形の編集・挿入)①	図形や画像作成について
				31	図形や画像を使った文書の作成ー(図形の編集・挿入)②	図形や画像作成について
実務経験教員の経歴				32	図形や画像を使った文書の作成ー(罫書きテキスト ボックスの挿入・ワードアートの挿入)	図形や画像作成について
				33	Chapter7練習問題・テスト	図形や画像作成について
				34	総合学習問題・テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	全学科	必須・選択	選択必修	1	発音編	声調と単母音の習得
学年	1年生	担当教員	富田	2	発音編	子音の習得
科目名	第二外国語中国語 I	時間数	68単位時間	3	発音編	複母音と鼻母音の習得
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	発音編	発音まとめ～ウォーミングアップ
使用テキスト名	グッと入門中国語			5	第一課 文法説明	「AはBです」が言える
補助教材	中国語検定過去問題			6	第一課 入替練習	「AはBです」が言える
科目概要と科目到達目標 中国語検定試験準4級取得または準4級取得程度の文法と単語を習得する。 中国語で定型の挨拶や簡単な日常会話ができるようになる。 文字を見て正しい発音ができるようになる。				7	第一課 本文	「AはBです」が言える
				8	第一課 練習問題と漢字ドリル	「AはBです」が言える
				9	第二課 文法説明	モノを指して「これは～です」が言える
				10	第二課 入替練習	モノを指して「これは～です」が言える
				11	第二課 本文	モノを指して「これは～です」が言える
				12	第二課 練習問題	モノを指して「これは～です」が言える
				13	第三課 文法説明	簡単な動作が言える
授業の進め方・学習方法・課題 前期では正しい発音と文字の習得を目標とし、文字を見て発音できるように訓練する。 後期は主に講義を通じて、日常生活に必要な単語や表現を習得し、 意思疎通に最低限必要な文法を学ぶ。発話練習や適宜検定の過去問題にも取り組む。				14	第三課 入替練習	簡単な動作が言える
				15	第三課 本文	簡単な動作が言える
				16	第三課 練習問題と漢字ドリル	簡単な動作が言える
				17	前期試験	前期学習内容の定着
				18	第四課 文法説明	モノの状態が言える
				19	第四課 入替練習	モノの状態が言える
				20	第四課 本文	モノの状態が言える
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				21	第四課 練習問題と漢字ドリル	モノの状態が言える
				22	第五課 文法説明	年齢や学年が言える
				23	第五課 入替練習	年齢や学年が言える
				24	第五課 本文	年齢や学年が言える
				25	第五課 練習問題と漢字ドリル	年齢や学年が言える
実務経験教員の経歴				26	第六課 文法説明	建物の場所が言える
				27	第六課 入替練習	建物の場所が言える
				28	第六課 本文	建物の場所が言える
				29	第六課 練習問題と漢字ドリル	建物の場所が言える
				30	第七課 文法説明	時間が言える
				31	第七課 入替練習	時間が言える
				32	第七課 本文	時間が言える
				33	第七課 練習問題と漢字ドリル	時間が言える
				34	後期試験	後期学習内容の定着

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	全学科	必須・選択	選択必修	1	韓国語について	文字、基本的な発音の習得
学 年	1年生	担当教員	柳・宇都宮・中林	2	基本の母音	母音の特徴を学ぶ
科 目 名	韓国語 I	時間数	68単位時間	3	基本の子音	子音の特徴を学ぶ
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	合成母音	母音の種類について学ぶ
使用テキスト名	基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版			5	パッチム	位置や場所を話すことができる
補助教材				6	文字の復習	文字についての総まとめ
科目概要と科目到達目標 科目到達目標:ハングル能力検定試験 5級取得または5級取得程度の文法と単語の習得 定型の挨拶や簡単な会話ができるようになる。 文字をみて正しい発音ができるようになる。				7	基本的なフレーズと挨拶	挨拶の種類とフレーズを使う
				8	第1課 私は浅井ゆかりです	自己紹介ができる
授業の進め方・学習方法・課題 前期では文字の習得を主な目標とし、文字を見て発音できるように グループワークなどを通じて行う。 後期は、日常生活に必要な単語を習得し、意思疎通に最低限必要な文法を 講義形式中心に行う。授業後半では必ず発話練習をペアワークで行う。				9	第2課 出身はソウルですか	出身地について学ぶ
				10	第3課 図書館ではありません	時間を話す
				11	第4課 時間がありますか	日にちを話す
				12	第5課 何をしますか	やりたいことを伝える
				13	第6課 貿易会社で働いています	仕事について話す
				14	第7課 服を買います	予定について話す
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				15	前期 復習①	テキストの復習
				16	前期 復習②	テキストの復習
				17	前期試験	
				18	第8課 スーパーでよく買います①	買い物に必要なことを話す
				19	第8課 スーパーでよく買います②	豆体が作れる
				20	第9課 1万ウォンです①	お金について学ぶ
				21	第9課 1万ウォンです②	お釣りについて学ぶ
				22	ハングル能力試験5級検定対策 ①	模擬問題を解く
				23	ハングル能力試験5級検定対策 ②	模擬問題を解く
				24	ハングル能力試験5級検定対策 ③	模擬問題を解く
実務経験教員の経歴				25	ハングル能力試験5級検定対策 ④	模擬問題を解く
				26	第10課 今、何時ですか①	時間について話す
				27	第10課 今、何時ですか②	時間について話す
				28	第11課 日本語を話されますか①	第3者に紹介する
				29	第11課 日本語を話されますか②	よりフォーマルな場で自己紹介する
				30	第12課 バスは行きません①	乗り物について話す
				31	第12課 バスは行きません②	乗り物について話す
				32	後期 復習①	テキストの復習
				33	後期 復習②	テキストの復習
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	国内地理 導入(勉強法・基礎理解)	地理勉強方法、都道府県庁所在地の理解
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	国立公園・山岳	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
学 年	1年	担当教員	矢後 達夫	3	高原・湿原	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
科 目 名	国内地理	時間数	17単位時間	4	湖・池・沼	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
開講期間	前期及び後期	授業形態	対面授業	5	島・岬・半島	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
使用テキスト名	昭文社「旅地図・日本」			6	海岸・鍾乳洞・洞窟	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
補助教材	パワーポイントスライド PDF教材(国内地理JTB教材より引用)			7	河川・溪流	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
科目概要と科目到達目標 日本国内の観光資源(自然・温泉・祭事等)についての学習について理解を深め、 地域資源の魅力を再発見し地理を活用した社会実務の補助とする。				8	渓谷・峡谷・谷	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
				9	庭園・小京都	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
授業の進め方・学習方法・課題 テキストと問題集を活用し、授業用プリントを作成、使用し進める。 定期的にテストと補講を実施。 地理検定は6月のみのため、次年度受験を推奨。				10	温泉(東日本)	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
				11	温泉	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				12	祭り	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
				13	寺社・仏閣	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
実務経験教員の経歴 旅行会社にて、カウンターを含む旅行渉外営業、旅行企画手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 10年間				14	博物館・美術館	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
				15	民謡・陶磁器・郷土料理	日本の観光名所・旧跡・風土を探究
【成績評価基準】				16	確認テスト	まとめ
				17	確認テスト	まとめ
【成績評価基準】				18	国内地理 後期オリエンテーション	前期の振り返り
				19	国立公園・山岳	前期学んだ箇所のエリア学習
【成績評価基準】				20	高原・湿原	前期学んだ箇所のエリア学習
				21	湖・池・沼	前期学んだ箇所のエリア学習
【成績評価基準】				22	島・岬・半島	前期学んだ箇所のエリア学習
				23	海岸・鍾乳洞・洞窟	前期学んだ箇所のエリア学習
【成績評価基準】				24	河川・溪流	前期学んだ箇所のエリア学習
				25	渓谷・峡谷・谷	前期学んだ箇所のエリア学習
【成績評価基準】				26	旅行地理」検定対策	実力判定
				27	旅行地理」検定対策	実力判定
【成績評価基準】				28	旅行地理」検定対策	実力判定
				29	旅行地理」検定対策	実力判定
【成績評価基準】				30	旅行地理」検定対策	実力判定
				31	旅行地理」検定対策	実力判定
【成績評価基準】				32	旅行地理」検定対策	実力判定
				33	確認テスト	まとめ
【成績評価基準】				34	確認テスト	まとめ

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	はじめに	マナーとは？
学年	1年	担当教員	鈴木	2	身だしなみチェック 立ち方チェック	姿勢・スーツの着こなし方 歪みチェック
科目名	ビジネスマナー	時間数	34	3	基本動作 立ち方と挨拶①	立ち方の姿勢
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	基本動作 お辞儀の仕方①	お辞儀の種類 それぞれの意味
使用テキスト名	実践ビジネスマナー			5	基本動作 お辞儀の仕方②	お辞儀の種類 それぞれの意味
補助教材	パワーポイント スライド			6	ビデオ撮影	立ち方・お辞儀の仕方 歩き方チェック
科目概要と科目到達目標 社会人としての心構えなど、社会に出る前に習得すべき内容を身に付ける				7	ビデオ撮影⇒確認 チェック	自分の姿チェックして再確認してもらう
				8	受け付け対応 ロールプレイ①	言葉遣い 案内の仕方
授業の進め方・学習方法・課題 秘書検定の授業で、基本的なマナーを学んでいるのでロールプレイにて身に付けることで習得させる。				9	受け付け対応 ロールプレイ②	お客様への対応
				10	エレベーター 廊下 階段案内	案内者の対応など 指し示し方他
				11	お茶の出し方①	お茶の出し方 概要
				12	お茶の出し方② ロールプレイ	
評価方法・成績評価基準 ①定期試験 20% ②授業への積極的参加(出席率)50% ③提出物 10% ④学習意欲 20% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				13	ロールプレイ チェック	受け付け 案内 お茶出し お見送りまで
				14	電話対応の仕方①	電話対応 概要
				15	電話対応の仕方② ロールプレイ	様々なお客様への対応 道案内 クレーム 郵送案内
				16	電話対応の仕方③ ロールプレイ	様々なお客様への対応 道案内 クレーム 郵送案内
実務経験教員の経歴				17	まとめ	
				18	秘書検定とは？	何故秘書検定を学ぶのか？秘書検定2級検定の問題と試験対策
				19	秘書の資質	●社会人としての意識 ●補佐役としての秘書
				20	秘書の資質	●求められる人間性とセンス 組織の中の秘書
				21	一般知識	●会社の経営 ●企業会計 ●法律
				22	一般知識	●人事・労務 ●マーケティング ●情報処理
				23	マナー・接遇	●人間関係と秘書の心得 ●敬語・接遇用語
				24	マナー・接遇	●話方・聞き方 ●少し複雑な話し方・聞き方
				25	マナー・接遇	●来客対応 心構え
				26	マナー・接遇	●受付対応
				27	マナー・接遇	●応接室への案内・お茶の出し方
				28	技能	●ビジネス文書・社内文書・社外文書①
				29	技能	●ビジネス文書・社内文書・社外文書②
				30	技能	●文書の取り扱い・適切な郵送の選び方①
				31	技能	●文書の取り扱い・「秘」扱文書他
				32	技能	●出張に関する秘書業務①・出張計画・準備の進め方
				33	技能	●出張に関する秘書業務①・上司の出張中の仕事・後の仕事
				34	秘書検定試験2級 過去問題	テスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1		
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	Journalism over the ages	Students will study how news consumption varies across age groups and whether everyone shares the same interests. They'll identify common and niche preferences, finding news relevant to their grandparents' generation, focusing on traditional sources and topics like health and community events. This exercise aims to foster critical thinking.
学 年	1年	担当教員	Maya	3	Changes in Journalism	
科 目 名	実践英語演習(Pop Culture)	時間数	34単位時間	4		
開講期間	後期	授業形態	対面授業/オンライン	5	Social media intro	Students will discuss their social media habits, analyzing popular and less-used platforms. They'll explore preferred content formats like reading, pictures, or videos. For a project, they'll compete to create the most liked Instagram post, then analyze why it resonated with their peers.
使用テキスト名	Original Material			6		
補助教材				7	Instagram	
				8		
科目概要と科目到達目標				9	Review&Feedback	
Students will learn how to share interesting and important news and information to the public (other students, teachers, and staff) in various ways: social media, videos, podcasts, and a newsletter. Students will get different kinds of information through interviews, research, and hands on experience. They will be able to communicate and share it with others by writing or talking about what they find. They will also learn what news to share and what platform to use, depending on their audience.				10	Video journalism intro	Students will learn what video journalism is: "A form of journalism, where the journalist shoots, edits and often presents their own video material." They will watch videos to see examples and get inspiration to create their own video.
				11		
				12	Video journalism project	Students will be put in groups to create their own video. They will work together to decide what kind of content they want, and what job each group member should have. (speaker, videographer, editor, etc)
				13		
授業の進め方・学習方法・課題				14		
Students will be graded on the following projects: -Social media: students will be able to create Instagram posts with information and different topics that is interesting to other AIR students, faculty, teachers, and perspective students. -Videos: Students will be able to create a video on a topic of their choosing, for example, an interview, news, weather, an event, etc. In English or create English subtitles for Japanese materials. -Podcasts: Students will be able to conduct an interview with a person of their choice and create a live podcast in English. -Newsletter: Students will be able to create and format a newsletter. They will collect information about NSG, as well as Niigata city to share it with fellow students, staff, and teachers at AIR.				15		
				16	Review&Feedback	
				17	Podcasts introduction	Students will discuss their podcast preferences and explore various podcast genres. They'll listen to and watch different podcasts, considering specific questions.
				18		
評価方法・成績評価基準				19		
①口頭試験50% ②授業への積極的参加20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%				20	Podcast project	Students will form groups to produce a podcast, deciding between audio-only or video and audio formats. They'll target a specific audience, such as book lovers or gamers. Within their teams, they'll select speakers and conduct an interview as part of the podcast.
				21		
				22		
				23		
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				24	Review&Feedback	
				25	Newsletter intro	Students will review newsletters/newspapers, considering their significance and content. They'll brainstorm roles and develop ideas for newsletters, focusing on engaging content, and form teams to assign roles.
				26		
				27	Newsletter	Students will finalize their teams and work in groups to create and publish the first NSG AIR college newsletter all in English.
				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33	Review&Feedback	
				34	Review&Feedback	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Introduction	英文の読解と内容理解
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	Chapter1 -Train-	基本的な読解と内容理解を学ぶ
学 年	1年生	担当教員	今井シャーリーン	3	Chapter1 -Train-	
科 目 名	実践英語演習 (Modern Literature & Reading)	時間数	34単位時間	4	Chapter2 -Mountaineer-	基本的な読解と内容理解を学ぶ
開講期間	後期	授業形態	対面授業/オンライン	5	Chapter2 -Mountaineer-	
使用テキスト名				6	Chapter3 -Secret-	基本的な読解と内容理解を学ぶ
補助教材				7	Chapter3 -Secret-	
				8	Presentation	上記3つのテーマを基にリサーチとプレゼンテーション
科目概要と科目到達目標				9	Chapter4 -Invention-	応用的な読解と内容理解を学ぶ
科目到達目標: 推測力、読解力とライティング力を身につけることができ、自身の意思を英語で伝えられるライティング力も身につける。				10	Chapter4 -Invention-	
				11	Chapter5 -Childhood Friends-	応用的な読解と内容理解を学ぶ
				12	Chapter5 -Childhood Friends-	
				13	Chapter6 -Elevator-	応用的な読解と内容理解を学ぶ
				14	Chapter6 -Elevator-	
授業の進め方・学習方法・課題				15	Presentation	上記3つのテーマを基にリサーチとプレゼンテーション
各章に基づき英語読解とレポートの提出を行う。また前期・後期で理解度測定のための試験とリーディング力向上の効果測定のためTOEIC L&Rのリーディングパート読解を行う。				16	Feedback	上記2回のプレゼンテーションのフィードバック
対面授業と遠隔授業の併用実施				17	前期テスト	内容理解テスト
				18	Chapter8 -Hard Worker-	実践的な読解を学び、表現できるようにする
				19	Chapter9 -Dream-	
				20	Chapter10 -Crybaby-	
評価方法・成績評価基準				21	Presentation	上記3つのテーマを基にリサーチとプレゼンテーション
①定期テスト50%、②課題提出率30%、授業に対する意欲20%				22	Chapter11 -A Winter Morning-	実践的な読解を学び、表現できるようにする
【成績評価基準】				23	Chapter12 -Spam Emails-	
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	Chapter13 -Lost Item-	上記3つのテーマを基にリサーチとプレゼンテーション
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	Presentation	
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	Chapter14 -Annoying Neighbor-	
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	Chapter15 -Hypothesis-	実践的な読解を学び、表現できるようにする
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	Chapter16 -Marriage-	
				29	Chapter17 -Cousins-	
				30	Chapter18 -Essay-	
				31	Chapter19 -Other Lives-	
実務経験教員の経歴				32	Chapter20 -A Black Car-	上記のテーマを基にリサーチとプレゼンテーション準備
				33	Presentation Preparation	
				34	Final Presentation	最終プレゼンテーション

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Introduction to Anthoropology 1	イントロダクション
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	Introduction to Anthoropology 2	イントロダクション
学 年	1年	担当教員	Neil/Charlie	3	The Culture Concept 1	概念
科 目 名	Cultural Studies II	時間数	34単位時間	4	The Culture Concept 2	概念
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	Method in Cultural Anthoropology 1	方法論
使用テキスト名	オリジナル教材、PPT			6	Method in Cultural Anthoropology 2	方法論
補助教材				7	Language 1	言語
				8	Language 2	言語
科目概要と科目到達目標				9	Subsistence 1	生計
科目概要: 「文化人類学とは何か」から始まり、概要とフィールドワークを含めた方法論を学んだ上で、 家族や結婚、人種、ジェンダー、宗教、グローバリゼーション等のテーマの諸側面を考える				10	Subsistence 2	生計
				11	Economics 1	経済
				12	Economics 2	経済
				13	Political Anthoropology 1	政治人類学
				14	Political Anthoropology 2	政治人類学
授業の進め方・学習方法・課題				15	Assessment	評価
準備されたテキストに沿って各テーマを取り扱い、個々の考えをクラス内で共有する。				16	Family and Marriage 1	家族と結婚
				17	Family and Marriage 2	家族と結婚
				18	Race and Ethnicity 1	人種と民族性
				19	Race and Ethnicity 2	人種と民族性
対面授業と遠隔授業の併用実施				20	Gender and Sexuality 1	性
評価方法・成績評価基準				21	Gender and Sexuality 2	性
出席30%、テスト30%、課題40%				22	Religion 1	宗教
【成績評価基準】				23	Religion 2	宗教
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	Globalization 1	グローバリゼーション
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	Globalization 2	グローバリゼーション
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	The History Anthoropological Ideas 1	人類学的思考の歴史
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	The History Anthoropological Ideas 2	人類学的思考の歴史
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	Culture and Sustainability 1	文化と持続性
				29	Culture and Sustainability 2	文化と持続性
				30	Media Anthorology 1	メディア人類学
				31	Media Anthorology 2	メディア人類学
実務経験教員の経歴				32	Health and Medicine 1	健康と医療
				33	Health and Medicine 2	健康と医療
				34	Assessment	評価

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Introduction to British English. Its origins and the influence of foreign words. Where it is spoken around the world	
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2		
学 年	1年	担当教員	Neil/Charlie	3	Introduction to American English. Its origins and the influence of foreign words. Where it is spoken around the world	
科 目 名	Cultural Studies II	時間数	34単位時間	4		
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	Variations of English spoken in other countries (eg. Australia)	
使用テキスト名	オリジナル教材、PPT			6		
補助教材				7	Foreign words used in both British and American English	
				8		
科目概要と科目到達目標				9	Foreign words used in both British and American English	
Students will learn the differences between British and American English. About different meanings of words between American and British. They often have completely different meanings. Differences in pronunciation and spelling.				10		
				11	Vocabulary differences between British and American English	
				12		
				13	Vocabulary differences between British and American English	
				14		
授業の進め方・学習方法・課題				15	Words pronounced differently and used between the languages	
To use textbooks, Powerpoint and online materials to show the differences. To make the students practice the use of the words in sentences. To explain the origins of the words and why there American meaning was changed from the original British.				16		
				17	Words pronounced and used differently between the languages	
				18		
				19	Spelling differences	
				20		
評価方法・成績評価基準				21	Spelling differences	
出席30%、テスト30%、課題40%				22		
				23	Grammar differences between British and American English	
				24		
				25	Grammar differences between British and American English	
				26		
				27	Local dialects in both countries	
				28		
				29	English and the internet	
				30		
				31	Review	
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34	Test and grading	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1		
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	Journalism over the ages	Students will study how news consumption varies across age groups and whether everyone shares the same interests. They'll identify common and niche preferences, finding news relevant to their grandparents' generation, focusing on traditional sources and topics like health and community events. This exercise aims to foster critical thinking.
学 年	1年	担当教員	Maya	3	Changes in Journalism	
科 目 名	実践英語演習 I (Journalism)	時間数	34単位時間	4		
開講期間	後期	授業形態	対面授業/オンライン	5	Social media intro	Students will discuss their social media habits, analyzing popular and less-used platforms. They'll explore preferred content formats like reading, pictures, or videos. For a project, they'll compete to create the most liked Instagram post, then analyze why it resonated with their peers.
使用テキスト名	Original Material			6		
補助教材				7	Instagram	
				8		
科目概要と科目到達目標				9	Review&Feedback	
Students will learn how to share interesting and important news and information to the public (other students, teachers, and staff) in various ways: social media, videos, podcasts, and a newsletter. Students will get different kinds of information through interviews, research, and hands on experience. They will be able to communicate and share it with others by writing or talking about what they find. They will also learn what news to share and what platform to use, depending on their audience.				10	Video journalism intro	Students will learn what video journalism is: "A form of journalism, where the journalist shoots, edits and often presents their own video material." They will watch videos to see examples and get inspiration to create their own video.
				11		
				12	Video journalism project	Students will be put in groups to create their own video. They will work together to decide what kind of content they want, and what job each group member should have. (speaker, videographer, editor, etc)
				13		
14						
授業の進め方・学習方法・課題				15		
Students will be graded on the following projects: -Social media: students will be able to create Instagram posts with information and different topics that is interesting to other AIR students, faculty, teachers, and perspective students. -Videos: Students will be able to create a video on a topic of their choosing, for example, an interview, news, weather, an event, etc. In English or create English subtitles for Japanese materials. -Podcasts: Students will be able to conduct an interview with a person of their choice and create a live podcast in English. -Newsletter: Students will be able to create and format a newsletter. They will collect information about NSG, as well as Niigata city to share it with fellow students, staff, and teachers at AIR.				16	Review&Feedback	Students will discuss their podcast preferences and explore various podcast genres. They'll listen to and watch different podcasts, considering specific questions.
				17	Podcasts introduction	
				18		
				19		
評価方法・成績評価基準				20		Students will form groups to produce a podcast, deciding between audio-only or video and audio formats. They'll target a specific audience, such as book lovers or gamers. Within their teams, they'll select speakers and conduct an interview as part of the podcast.
①口頭試験50% ②授業への積極的参加20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%				21	Podcast project	
				22		
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23		
				24	Review&Feedback	
				25	Newsletter intro	Students will review newsletters/newspapers, considering their significance and content. They'll brainstorm roles and develop ideas for newsletters, focusing on engaging content, and form teams to assign roles.
				26		
				27	Newsletter	Students will finalize their teams and work in groups to create and publish the first NSG AIR college newsletter all in English.
				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33	Review&Feedback	
				34	Review&Feedback	